

令和7年度 国語科 第2学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、言語文化に親しみ理解できるようにする。
- ・論理的に考える力や共感・想像する力を養い、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをひろげ、深めることができるようにする。
- ・言葉の価値を認識し、読書を生活に役立て、言語文化を大切に、思いや考えを伝え合う態度を養う。

2 指定教科書

国語科	2学年	教科書名（出版社）	光村図書
		副教材	新・国語の便覧（正進社）、国語のワーク、つまづかない文法の学習（新学社）、漢字レッスン（浜島書店）、ラインズeライブラリ

3 学習到達目標

- ・目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付け、話したり聞いたりして考えを広げようとしている。（話すこと・聞くこと）
- ・目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付け、文章を書いて考えを広げようとしている。（書くこと）
- ・目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付け、読書を生活に役立てようとしている。（読むこと）
- ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しみ、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像している。（伝統的な言語文化）
- ・抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。（言葉の特徴やきまり）

4 学習の進め方

- ・毎授業開始時の、漢字小テストのための漢字練習（家庭学習）
- ・単元ごとに設定された学習目標に沿って学習課題を進める。
- ・発表や ICT を使った意見交換を行い、自身の考えを再構築する。（思考力、判断力、表現力）
- ・振り返りを行い、自己の学習への取り組み方や身につけた力を客観的に捉え、自身の課題を確認する。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・フォームによる語彙力、漢字力の復習や確認（学期に1～2回程度）
- ・ロイロノートを使った意見交換と考えの再構築、振り返り
- ・スライドやロイロノートを使った発表（適宜）
- ・eライブラリーを使った復習確認（年間）

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がいていい、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気づきや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期 4	見えないだけ（1時間）	【知・技】語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	【知・技】ワークシート
	アイスプラネット（4時間）	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 （(2)イ） 【思・判・表】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。（C(1)ア） 【態】登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	【知・技】ワークシート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワークシート、ノート、ワーク振り返り
	漢字に親しもう1（1時間）	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)ウ） 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	【知・技】ワークシート、定期考査
	意見を聞き、整理して検討する（1時間）	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。（A(1)ア） 【態】進んで意見と根拠の関係を整理しながら聞き、今までの学習を生かして根拠の適切さなどについて検討しようとしている。	【知・技】ノートまたはワークシート 【思・判・表】ノートまたはワークシート、話し合い活動および発表
	文法への扉1 単語をどう分ける（文法1）自立語（2時間）	【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。（(1)オ） 【態】学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。	【知・技】ワーク、定期考査
5	魅力的な提案をしよう（5時間）	【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。（(1)ア） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。（A(1)イ） 【態】自分の考えがわかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。	【知・技】ノートまたはワークシート 【思・判・表】ノートまたはワークシート、話し合い活動および発表 【主体的】振り返り
	枕草子 【書く】自分流「枕草子」を書こう（3時間）	【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。（(3)ア） ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。（(3)イ） 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。（C(1)オ） ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。（B(1)ウ） 【態】文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、ワーク、定期考査、作品 【主体的】ワーク、ワークシート、ノート、作品、振り返り
6	クマゼミ増加の原因を探る（4時間）	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。（C(1)ア） ・「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。（C(1)ウ） 【態】積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。	【知・技】ワークシートまたはノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワーク、ワークシート、ノート、振り返り

7	情報整理のレッスン 思考の視覚化（１時間） 情報を整理して伝えよう 職業ガイドを作る（５時間） 漢字１ 熟語の構成 漢字に親しもう２（１時間） 短歌に親しむ 【書く】短歌の創作教室 短歌を味わう（５時間） 言葉の力（２時間） 言葉１ 類義語・対義語・多義語（２時間） メディアの特徴を生かして情報を集めよう デジタル市民として生きる（２時間） 読書を楽しむ（４時間） 翻訳作品を読み比べよう『星の王子さま』コラム「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) 【態】積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。 【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】多様な方法で集めた情報を粘り強く整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。 【知・技】第１学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】・「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えている。((C(1)エ) ・「読むこと」において、短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】表現の効果について進んで考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。 【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【態】文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C(1)イ) 【態】複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集のしかたについて考えをまとめようとしている。 【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) 【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験	【知・技】ワークシートまたはノート 【知・技】ワークシートまたはノート 【思・判・表】ワークシート、ノート、作品 【主体的】作品、発表 【知・技】ワークシートまたはノート定期考査 【知・技】ワークシートまたはノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワーク、ワークシート、ノート、振り返り 【知・技】ワークシートまたはノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査、 【主体的】ワーク、ワークシート、ノート、振り返り 【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【知・技】ワークシート 【思・判・表】ワークシート 【主体的】振り返り 【知・技】ワークシート 【思・判・表】本の紹介カード・発表
---	---	---	--

		験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【態】表現の効果について進んで考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。	
2学期 9	ヒューマノイド（4時間） 字のない葉書（3時間） 表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く （3時間） 【推敲】表現の効果を考える （1時間） 言葉2 敬語 （1時間） 聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す （2時間） 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3（1時間）	【知・技】話や文章の構成や展開について理解を深めている。(1)オ 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ) 【態】登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。 【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)工) 【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)工) 【態】文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)力) 【思・判・表】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】自分の考えが伝わる文章になるように積極的に工夫し、学習課題に沿って手紙や電子メールを書こうとしている。 【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)力) 【思・判・表】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)工) 【態】進んで文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。 【知・技】敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)力) 【態】今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。 【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)工) 【態】論理の展開などに注意して粘り強く聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出すインタビューをしようとしている。 【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 【態】積極的に同訓異字や同音異義語を理解し、学習課題に沿って漢字を読んだり書いたりしようとしている。	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワークシート、ノート、ワーク、発表 【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワークシート、ノート、ワーク、発表 【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワークシート 【知・技】ワークシート、定期考査 【知・技】ワークシート、ノート 【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】定期考査 【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワークシート、ノート
10	モアイは語る——地球の未来（5時間）	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。(C(1)工) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【態】論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見通しをもって筆者の主	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワークシート、ノート

11	思考のレッスン1 根拠の吟味（1時間）	張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。 【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【態】今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査
	適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く（5時間）	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査
	聴きひたる 月夜の浜辺 （1時間）	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【態】進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワークシート、音読、振り返り
	音読を楽しむ 平家物語 「平家物語」の世界／ 「平家物語」の主な登場人物たち（1時間）	【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【態】進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査
	扇の的 —— 「平家物語」から （3時間）	【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ) 【態】登場人物の言動の意味について進んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワーク、ワークシート、暗唱
	仁和寺にある法師 —— 「徒然草」から 【書く】人物の特徴を捉えて論じよう（3時間）	【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) 【態】積極的に知識や経験と結び付けて考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワーク、ワークシート、暗唱 振り返り
	漢詩の風景（3時間）	【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) 【態】進んで漢詩の構成や表現の効果を考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワーク、ワークシート、暗唱、振り返り
	君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ （5時間）	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている((2)イ) 【思・判・表】	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査

12	思考のレッスン2 具体と抽象(1時間)	・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)工) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【態】進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。	【主体的】ワーク、ワークシート、振り返り 【知・技】ワークシート、ノート、定期考査
	話し合い(進行) 話し合いの流れを整理しよう(1時間)	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【態】学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。	【知・技】ワークシート、ノート
	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 文法2用言の活用(2時間)	【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。((1)オ) 【態】今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。	【知・技】ワーク、定期考査
	立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる(4時間)	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) 【態】進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。	【知・技】ワークシート、ノート 【思・判・表】ワークシート、話し合い 【主体的】ワークシート、話し合い、発表
	漢字に親しもう4(1時間)	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	【知・技】ワーク、定期考査
3学期 1	「自分らしさ」を認め合う社会 へ 父と話せば／六千回のト ライの先に 読書案内 本の世界を広げよ う(4時間)	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)工) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【態】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。	【知・技】ワークシート 【思・判・表】ワークシート、発表 【主体的】発表
	走れメロス 【書く】作品の魅力をまとめ、 語り合おう(7時間)	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)工) 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】登場人物の言動の意味などについて粘り強く考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワーク、ワークシート、音読振り返り
	漢字に親しもう5(1時間)	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワークシート

2	文法への扉3 一字違いで大違い文法3 付属語（2時間） 描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く（5時間）	る。 【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。((1)オ) 【態】今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。 【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【態】粘り強く描写を工夫し、学習の見直しをもって物語を創作しようとしている。	【知・技】ワーク、定期考査 【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【思・判・表】ワークシート、ノート、定期考査 【主体的】ワークシート
3	言葉3 話し言葉と書き言葉（2時間） 漢字3 送り仮名（2時間）	【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。((1)イ) 【態】今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。 【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【態】学習課題に沿って、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。	【知・技】ワークシート、ノート、定期考査 【知・技】ワークシート、ノート、定期考査
	国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る 鍵（2時間）	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【態】粘り強く国語を学ぶ意義を考え、今までの学習を生かしてまとめクラスで交流しようとしている。 【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【態】詩を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。	【知・技】ワークシート、ノート 【思・判・表】ワークシート、ノート 【主体的】振り返り 【知・技】ワークシート 【思・判・表】ワークシート 【主体的】ワークシート
	国語の力試し（3時間）	【知・技】 ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解している。((1)エ) ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。((1)カ) 【思・判・表】・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ) 【態】今までの学習を生かして、それぞれの学習に粘り強く取り組もうとしている。	【知・技】ワークシート 【思・判・表】ワークシート 【主体的】振り返り

書写

月・学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1学期 4 5 6 7	・点画の省略（3時間） ・筆順の変化（3時間） ・行書に調和する仮名「いろは歌」（3時間）	【知】漢字の行書の書き方（点画の省略）を理解して、読みやすく速く書いている。 【思】行書の書き方＜点画の省略＞を確かめている。 【態】進んで行書の書き方（点画の省略）を理解し書こうとしている。 【知】漢字の行書の書き方（筆順の変化）を理解して、読みやすく速く書いている。 【思】行書の書き方＜筆順の変化＞を確かめている。 【態】進んで行書の書き方（筆順の変化）を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。 【知】行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。 【思】「いろは歌」を書くなかで、行書に調和した仮名の書き方を確かめている。 【態】進んで行書に調和した仮名の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。	【知】【思】硬筆 【知】【思】硬筆 【知】【思】硬筆 【知】【思】硬筆 【知】【思】毛筆
2学期 9 10 11 12	・行書と仮名の調和（3時間） ・行書と楷書の使い分け（2時間）書初め	【知】漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。 【思】行書に仮名を調和させるための書き方を確かめている。 【態】進んで行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。 【知】目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。 【思】場面を選んで自分の名前を書く活動のなかで、目的や必要に応じて書体を選択して書くことの必要性を確かめている。	
3学期 1 2 3	書初め 季節のしおり	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。	【知】【思】毛筆

令和7年度 社会科 第2学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 指定教科書

社会科	2学年	教科書名（出版社）	中学生の歴史・中学生の地理（どちらも帝国書院）
		副教材	歴史資料集（浜島書店）地理資料集（とうほう）問題集（学宝社） ライنز e ライブラリ

3 学習到達目標

- ・我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関係を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

4 学習の進め方

- ・地理的分野においては、教科書を中心に学習し、位置や特色・空間的関係を確認できるように授業を進める。
- ・歴史的分野においては、教科書を中心に学習し、時代の流れや時系列を確認できるように授業を進める。
- ・班学習や調べ学習、そしてその発表等を行い、思考力や表現力の向上を目指す。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・学習の振り返りについて、授業内で小テストなどを行う。
- ・班学習や調べ学習で、タブレットを使って教科書や資料集の補充をおこなう。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期 4 5 6 7	[地理]地域調査の手法・日本の地域的特色と地域区分（18時間） [歴史]中世前期（17時間） 第3章 武家政権の成長と東アジア	・地域調査については、調査の視点や方法、地形図や主題図の読図のような技能を身に付ける。（知識・技能） ・郷土学習も含めた特定の地域について、説明しまとめることができる。（思考・判断・表現） ・日本の地域的特色と地域区分については、①自然環境②人口③資源・エネルギーと産業④交通・通信について、日本の諸地域を見る視点や方法を身に付ける。（知識・技能） ・これらの視点から見た日本という国の総合的な特色を説明し、まとめることができる。（思考・判断・表現） ・武士の起こり・武家政治のはじまり・鎌倉文化および、それぞれの背景となるユーラシアの交流に関する事項を読み取り、身に付ける。（知識・技能） ・中世前期それぞれの時代の政治・経済・文化などの特色を大観し、まとめ、説明することができる。（思考・判断・表現）	<知識・技能/思考・判断・表現> 左記の評価規準について、小テスト・定期テスト・提出課題を行い、評価する。 <主体的に取り組む態度> ・班学習や提出課題に対して主体的に追及しているかを評価する。 ・学んだ内容について、振り返り学習で定着をはかっているかどうかを評価する。
2 学期 9 10 11 12	[地理]西日本の諸地域（18時間） [歴史]中世後期（18時間） 第4章 武家政権の展開と世界の動き 第1節 大航海によって結びつく世界 第2節 戦乱から全国統一へ 第3節 武士による全国支配の完成	・西日本の九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方について、それぞれの地誌的事項を読み取り、身に付ける。（知識・技能） ・それぞれの地方の特色を大観し、まとめ、説明することができる。（思考・判断・表現） ・武家政治の展開と東アジアの動き・民衆の成長と新たな文化の形成および、それぞれの背景となるユーラシアの交流に関する事項を読み取り、身に付ける。（知識・技能） ・中世後期それぞれの時代の政治・経済・文化などの特色を大観し、まとめ、説明することができる。（思考・判断・表現）	<知識・技能/思考・判断・表現> 左記の評価規準について、小テスト・定期テスト・提出課題を行い、評価する。 <主体的に取り組む態度> ・班学習や提出課題に対して主体的に追及しているかを評価する。 ・学んだ内容について、振り返り学習で定着をはかっているかどうかを評価する。
3 学期 1 2 3	[地理]東日本の諸地域・地域の在り方（15時間）	・東日本の関東地方、東北・北海道地方について、それぞれの地誌的事項を読み取り、身に付ける。（知識・技能） ・それぞれの地方の特色を大観し、まとめ、説明することができる。（思考・判断・表現） ・地域の在り方について、実態・課題解決の取り組みについて、考察・説明・まとめる手法を身に付ける。（知識・技能） ・特定の事項の実態や課題解決の取り組みについて、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、考察	<知識・技能/思考・判断・表現> 左記の評価規準について、小テスト・定期テスト・提出課題を行い、評価する。 <主体的に取り組む態度> ・班学習や提出課題に対して主体的に追及しているかを評価する。 ・学んだ内容について、振り返り学習で定着をはかっているかどうか

	[歴史]近世の日本 (15時間) 第4章 武家政権の展開と世界の動き 第4節 天下泰平の世の中 第5節 社会の変化と幕府の対策	し、構想し、まとめ、説明することができる。 (思考・判断・表現) ・世界の動きと統一事業・江戸幕府の成立と対外関係・産業の発達と町人文化・幕府政治の展開について、それぞれの背景となる世界の交易の空間的な広がりに関する事項を読み取り、身に付ける。(知識・技能) ・近世それぞれの時代の政治・経済・文化などの特色を大観し、まとめ、説明することができる。	を評価する。
--	---	---	---------------

※定期考査の時間は別に定めております。

令和7年度 数学科 第2学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈、表現・処理したりする技能を身に付ける。
- ・文字や数量、図形や関数関係に着目し、関係や法則を考察する力や表現する力を養う。
- ・数学的活動の楽しさやよさを実感して粘り強く考え、生活に生かそうとする力、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

2 指定教科書

数 学 科	2 学 年	教科書名（出版社）	新しい数学2 （東京書籍）
		副教材	ライズ e ライブラリ リピート学習2（正進社）

3 学習到達目標

- ・二元一次方程式や連立二元一次方程式の必要性和意味を及びその解の意味を理解できるようにする。
- ・事象を数学化したり、数学的に解釈したりすることを通して、基礎をなす技能を身に着けるようにする。
- ・数学を用いて論理的、統合的・発展的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを「実感して」粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う。

4 学習の進め方

○授業の進め方

- ・問題定義⇒考察⇒表現⇒問題演習

○思考力・判断力・表現力の育成

- ・オープンエンドの課題や複数の解放がある問に取り組ませる。また、誤った解放を取り扱い何が誤ったのかを考えさせる活動を通して思考力の育成を図る。
- ・条件設定や数値設定を生徒自身に行わせ、問題に取り組む際にPDCAを考えさせて取り組ませることで判断力の育成を図る。
- ・説明やプレゼンテーションの機会を増やしたり、対話的な活動を増やしたりすることで表現力の育成を図る。

○望ましい家庭学習

- ・授業内で、理解できなかったところの理解や授業内で理解できたところの定着を図るために、ノートや教科書を用いた復習やEライブラリを用いた問題演習を行う。
- ・授業内に興味を持ったことについて、調べる。
- ・授業内で学んだことを日常生活に生かそうとする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・小テストや定期考査前後に補修教室を実施したい。
- ・授業内にタブレットを用いた調べ学習や表計算ソフトの活用、プレゼンテーション資料の作成を行う。
- ・eライブラリを使用させて、復習や予習を行う。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がていねいで、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1学期	1章 式の計算(15)	【知識・技能】 整式や単項式の計算を理解し、具体的な数両関係を文字式で表す技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 既習の数・一次式との関連を踏まえて計算方法を考察・説明し、文字式を活用して事象を整理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 文字式の利点に気づき、粘り強く開放を検討しながら日常への応用を探ろうとする。	【知識・技能】 ・定期考査 ・単元テスト 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・単元テスト ・レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小テスト ・行動観察 ・レポート ・ワーク等の提出物
4	1節 式の計算 (8)		
5	2節 文字式の利用 (6)		
	章の問題 (1)		
6	2章 連立方程式(13)	【知識・技能】 2元1次方程式と連立方程式の解の意味を理解し、加減法や代入法を用いて解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 問題の状況に応じて解法を選択・判断し、連立方程式の有用性と解決方法を論理的に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 連立方程式の便利さを感じ取り、問題解決のプロセスを振り返りながら意欲的に学習に取り組んでいる。	【知識・技能】 ・定期考査 ・単元テスト 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・単元テスト ・レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小テスト ・行動観察 ・レポート ・ワーク等の提出物
	1節 連立方程式とその解き方 (7)		
	2節 連立方程式の利用 (5)		
	章の問題 (1)		
7	3章 1次関数(20)	【知識・技能】 1次関数の意味や傾き・切片などの概念を理解し、表・式・グラフを関連づけて問題を処理することができる。 【思考・判断・表現】 変化の割合を踏まえて1次関数を適切に活用し、グラフの特徴を読み取りながら筋道立てて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1次関数の有用性を見出し、身近な事象へ応用しようとする姿勢をもち、考察を深めようとしている。	【知識・技能】 ・定期考査 ・単元テスト 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・単元テスト ・レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小テスト ・行動観察 ・レポート ・ワーク等の提出物
	1節 1次関数 (2)		
	2節 1次関数の性質と調べ方 (9)		
	3節 2元1次方程式と1次関数 (4)		
	4節 1次関数の利用 (4)		
	章の問題 (1)		
2学期			
9			
10	4章 平行と合同(16)	【知識・技能】 平行線や三角形の合同など基本的な図形の性質を理解し、問題解決に活用することができる。 【思考・判断・表現】 証明の意義を理解して根拠となる性質を正しく押さえ、図形の性質を論理的に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形の性質を追求する過程を重視し、別解も誤りも含めて粘り強く学習しようとしている。	【知識・技能】 ・定期考査 ・単元テスト 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・単元テスト ・レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小テスト ・行動観察 ・レポート ・ワーク等の提出物
	1節 説明のしくみ (3)		
	2節 平行線と角 (6)		
	3節 合同な図形 (6)		
	章の問題 (1)		
11			
	5章 三角形と四角形(22)	【知識・技能】 二等辺三角形や直角三角形、平行四辺形などの定義・性質を理解し、論理的に説明することができる。	【知識・技能】 ・定期考査 ・単元テスト
	1節 三角形 (8)		

1 2	2 節 平行四辺形 (13) 章の問題 (1)	【思考・判断・表現】 合同条件や「逆」「反例」などを踏まえて新たな性質を見出し、論理的に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形における証明の重要性を感じ取り、粘り強く推論と検証を重ねながら学習を深めようとしている。	【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・単元テスト ・レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小テスト ・行動観察 ・レポート ・ワーク等の提出物
3 学期			
1			
2	6 章 確率(10) 1 節 確率 (7) 2 節 確率による説明 (2) 章の問題 (1)	【知識・技能】 標本空間や有利な事象の数を正しく整理し、基本的な確率数値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 実験結果と理論値を比較しつつ、起こりやすさを合理的に説明し、適切に判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常場面の偶然性に着目し、得られた結果を振り返りながら確率の考え方を深めようとしている。	【知識・技能】 ・定期考査 ・単元テスト 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・単元テスト ・レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小テスト ・行動観察 ・レポート ・ワーク等の提出物
3	7 章 データの比較 (5) 1 節 四分位範囲と箱ひげ図(4) 章の問題 (1)	【知識・技能】 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解し、コンピュータ等を活用しながらデータを整理・可視化する技能を身につけることができる。 【思考・判断・表現】 箱ひげ図などを用いて分布を比較し、その傾向を批判的に読み取り・判断して説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 四分位範囲や箱ひげ図の有用性を認識し、学習内容を生活やほかの学習に積極的に生かそうとする。	【知識・技能】 ・定期考査 ・単元テスト 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・単元テスト ・レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小テスト ・行動観察 ・レポート ・ワーク等の提出物

※定期考査の時間は別に定めております。

令和7年度 理科 第2学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 指定教科書

理科	2 学 年	教科書名（出版社）	新しい科学 2（東京書籍）
		副教材	理科の自主学习 2年（正進社）ライنز e ライブラリ

3 学習到達目標

- ・化学変化について、見通しをもって観察・実験などを行い、原子や分子のモデルと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化とその量的な関係を見いだして表現することができるようになる。
- ・生物のからだのつくりとはたらきについて、見通しをもって観察・実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物・動物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現することができるようになる。
- ・気象要素と天気の変化について、見通しをもって観察・実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天気の変化と日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現することができるようになる。
- ・静電気と電流、電圧・磁界について、観察・実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、電流と電圧や電流のはたらき、電流と磁界についての規則性や関係性を見いだして表現することができるようになる。

4 学習の進め方

- ・「課題を把握する→仮説を立てて観察・実験を行う→考察・推論をする」という基本的な流れにのっとり、考察・推論したことを結論付けたり、発表したり、レポートにまとめたりすることで課題を解決していく授業を展開する。
- ・観察・実験の結果を処理する段階、仮説の妥当性を検討する段階、新たな知識やモデル等を創造する段階で行われる生徒間の意見交換・議論を通して、思考力・判断力・表現力の伸長を図る。
- ・授業で獲得した知識を実際に活用できるように、家庭では副教材のワークやタブレット端末を活用して中学校での定期考査や入試での問題の出され方に慣れておく。
- ・学んだことを日常生活や社会に活用する態度を養うために、日常の現象と関連付けて生徒が興味を持ちやすいような教材を用いて授業を行う。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・各単元、各章の終了後など、定期的に副教材のワークや e ライブラリアドバンスの確認テスト等を解くことで知識の定着を図る。
- ・教科書に記載の QR コードを読み取ることで、実験動画や関連する動画を視聴するなど、タブレット端末を活用した振り返りを行うことで、知識の定着を図る。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がていねいで、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気づきや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

1 学期 4 5 6 7	化学変化と原子・分子 (33) ・物質のなり立ち(7) ・物質どうしの化学変化(7) ・酸素がかかわる化学変化 (7) ・化学変化と物質の質量(7) ・化学変化とその利用(5)	<知識・技能> 物質の成り立ちや変化に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <思考・判断・表現> 物質の成り立ちや変化についての観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 <主体的に取り組む態度> 化学変化の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<知識・技能> 定期考査、実験・観察・実習プリントの結果への取り組みの様子、小テスト等 <思考・判断・表現> 定期考査、実験プリントの考察への取り組みの様子等 <主体的に取り組む態度> 授業の取り組みの状況、振り返りシートの取り組みの状況、小テストの取り組み状況等
2 学期 9 10 11	生物のからだのつくりとはたらき(36) ・生物と細胞(8) ・植物のからだのつくりとはたらき(11) ・動物のからだのつくりとはたらき(11) ・刺激と反応(6)	<知識・技能> からだのつくりの共通点や相違点に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <思考・判断・表現> からだのつくりや生物の変遷についての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。 <主体的に取り組む態度> 生物のつくりに関する観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<知識・技能> 定期考査、実験・観察・実習プリントの結果への取り組みの様子、小テスト等 <思考・判断・表現> 定期考査、実験プリントの考察への取り組みの様子等 <主体的に取り組む態度> 授業の取り組みの状況、振り返りシートの取り組みの状況、小テストの取り組み状況等
12 3 学期 1 2 3	電気の世界(35) ・静電気と電流(7) ・電流の性質(14) ・電流と磁界(14)	<知識・技能> 電気にかかわる現象に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <思考・判断・表現> 電気にかかわる現象についての観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 <主体的に取り組む態度> 電気にかかわる現象の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<知識・技能> 定期考査、実験・観察・実習プリントの結果への取り組みの様子、小テスト等 <思考・判断・表現> 定期考査、実験プリントの考察への取り組みの様子等 <主体的に取り組む態度> 授業の取り組みの状況、振り返りシートの取り組みの状況、小テストの取り組み状況等
1 学期 4 ～ 7 2 学期 9 ～ 12 3 学期 1 ～ 3	天気とその変化(32) ・気象の観測(14) ・雲のでき方と前線(7) ・大気の流れと日本の天気 (11)	<知識・技能> 天気の仕組みや移り変わりに着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <思考・判断・表現> 天気についての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。 <主体的に取り組む態度> 天気に関する観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<知識・技能> 実験・観察・実習の取り組みの様子、ワークシートの記入状況、授業の取り組みの様子、定期考査、ワークシート、小テスト等 <思考・判断・表現> 定期考査、ワークシートの記入状況、実験プリントの取り組みの様子、ノートの思考課題への取り組みの様子、小テスト等 <主体的に取り組む態度> 授業の取り組みの様子、授業中の発言、ノートの記入状況、ワークシートの記入状況、小テストへの取り組み状況等

※定期考査の時間は別に定めております。

令和7年度 音楽科 第2学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・音楽の学習や活動を通して、生活を明るく豊かなものにし、音楽を愛好する心を養う。

2 指定教科書

音楽科	2学年	教科書名（出版社）	中学生の音楽2・3上（教育芸術社）音楽のおくりもの中学器楽（教育芸術社）
		副教材	コーラスフレンズ（教育芸術社）、ラインズ e ライブラリ

3 学習到達目標

- ・歌唱の活動を通して、表現に関わる知識や技能を身に付けてそれを生かし、歌唱表現を創意工夫することができるようになる。
- ・音楽を形作っている要素を知覚し、それらが生み出す特質を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができるようにする。
- ・鑑賞の活動を通して曲想と音楽の構造や背景などとの関わりや音楽の多様性について理解することができるようにする。
- ・主体的・協働的に音楽活動に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽を愛好する心をもつ。
- ・日本の伝統音楽や文化に興味をもたせ、そのよさを世界に広める心情にする。

4 学習の進め方

- ・教科書の利用、範晶（範奏）を主に抒情的な歌唱表現を工夫させる。
- ・鑑賞教材より西洋音楽の歴史（音楽文化の成り立ち）を理解させる。
- ・グループディスカッション等（各パートや指揮と伴奏）を行い、協働作業を通して思考力や表現力の向上を目指し、合唱を作り上げる。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・模範歌唱や合唱を動画にて学習する。
- ・日々の学習の振り返りや定期考査の学習においては、ラインズ e ライブラリを使用する。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期 4 5	夢の世界を（2）	・6/8 拍子を感じながら響きのある声で合唱する。 ・前半と後半の曲想の違いを感じ取って、ふさわしい表現を工夫する。 ・パートの役割や部分的な曲想の違いを感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫する。	・混声三部の響き【学習に向かう態度】→観察 ・曲の特徴と歌詞【学習に向かう態度】→観察
	翼をください（2）	・自分の思いを歌声にのせるため、スムーズな息の流れを工夫した響きのある発声をする。	・姿勢や呼吸法【思考・判断表現】→観察
	MyVoice（1）	・次々と現れる主題に注目し、旋律が重なり合っていく美しさを味わう。	・楽曲について【知識】→定期考査
	パイプオルガンの豊かな響きを感じ取る。	・パイプオルガンの豊かな響きを感じ取る。	・特徴をとらえたまとめ【思考・判断・表現】 【学習に向かう態度】→鑑賞ノート
	フーガ短調（1）		
	リズムゲーム（2） （創作1）	・十六分音符やシンコペーションのリズムを使ってアンサンブルをする。 ・パートの役割を理解し、詞の内容を考えながら正しい音程で表現を工夫して歌い合わせる。	・リズム創作【思考・判断・表現】→発表 ・空～ぼくらの第2章…音程・発音【知識・技能】、発声・曲想【思考・判断・表現】→実技テスト
	7 空～ぼくらの第2章（5） （混声三部合唱）	・混声合唱の響きを生かしながら、互いの声や伴奏をよく聴いて歌う。	・曲について【知識】、歌詞【学習に向かう態度】→定期考査
	サンタルチア（1）	・ナポリ民謡の特徴を感じ取り、曲想を生かして表情豊かに歌う。 ・言葉の美しい響きを生かしながら、発音に気を付けて歌う。	
	合唱コンクールの自由曲（6） （混声三部合唱）	・各パートの役割や、旋律の重なり方の違いに注意して、表現を工夫して歌う。 ・作者のメッセージを理解し、曲想を感じ取って表現を深める工夫をして歌う。	・合唱コンクールにて発表【知識・技能】 ・作者からのメッセージ、曲の内容を考察【思考・判断】→ワークシート
	2 学期 9		
10 11 12	交響曲第5番（2） ハ短調	・動機の繰り返しや変化に注目しながら、曲想の変化を感じ取って聴く。 ・オーケストラの豊かな響きを感じ取る。 ・オーケストラの楽器についての理解を深める。	・楽曲について【知識】→定期考査 ・特徴をとらえたまとめ【思考・判断・表現】 【学習に向かう態度】→鑑賞ノート
	西洋音楽史（2） （導入） ブルタバ（モルダウ）	・音楽文化の起り、中世（キリスト教会）までの歴史を学習する。 ・国民楽派の国籍性のある音楽について学習し、国柄の表れを感得する。 ・標題音楽について理解する。	・西洋音楽史【知識】→期末考査 ・楽曲について【知識】→定期考査 ・特徴をとらえたまとめ【思考・判断・表現】 【学習に向かう態度】→鑑賞ノート
	3 学期 1	やさしさに包まれたなら（1）	・歌詞【知識】【学習に向かう態度】→定期考査
	音楽を形作っている要素（1）	・パートの関わり合いを理解して、歌詞の内容を深く表現できるように工夫する。 ・ポップスの軽快な流れにのって合唱する。 ・音色、リズム、旋律、ハーモニー、曲想、形式など、一年間で学習したことを振り返る。	・音楽の要素【知識】→定期考査
2 3			

※定期考査、実技テストの時間は別に定めております。

令和7年度 美術科 第2学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・造形的な視点について理解するとともに、表現方法を工夫して表すことができるようにする。また、自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和などについて考え、美術文化に対する感じ方を広げることができるようにし、楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 指定教科書

美術科	2学年	教科書名（出版社）	美術2・3（光村図書）
		副教材	資料集 美術資料（秀学社） ラインズ e ライブラリ （用具 クロッキー帳、ポスターカラー、タブレット、鉛筆）

3 学習到達目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ・楽しく美術活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

4 学習の進め方

- ・第1学年において身に付けた知識や表現に関する資質と能力を十分に活用させるために1題材に時間をかけて進めていく。
- ・題材ごとに鑑賞の時間を設定し、作者がどのようにして主題を生み出し、表現の工夫をしているのかについて考えさせ、思考力・判断力・表現力の育成につなげる。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・個別最適な学びのために、授業内で使用する資料や作品制作の手立てをデジタルとアナログの媒体両方を用いる。
- ・美術表現の可能性を広げるために、映像メディアの積極的な活用を図る。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がていねいで、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1学期 4	オリエンテーション (1時間) ・評価方法の確認	○美術についての理解を深める	
5 6 7	「伝える」デザイン (13時間) ・色の学習 ・構成の学習 ・ロゴマーク、ロゴデザイン	<知識・技能> 自らが想定した相手に合わせて配色や構成を選択し、着彩方法や制作手順を工夫して表現することができる。 <思考・判断・表現> 自らが想定した相手に応じて配色や構成を考えたり、鑑賞を通してさまざまな配色や構成の組み合わせの工夫や美しさに気付いたりしている。	<知識・技能> 期末考査、ワークシート、作品 <思考・判断・表現> 作品、作品解説、期末考査 <主体的に取り組む態度> 授業中の取り組み、ワークシート、授業の振り返り
2学期 9 10 11 12	シュルレアリスム 凹版画（ドライポイント） (13時間) ・版画表現の種類 ・ドライポイントのしくみ	<知識・技能> 材料の特性を活かして正しく使用し、意図に合わせて工夫した表現ができる。 <思考・判断・表現> ドライポイントならではの表現を理解し、そこから効果的な配色・構成を工夫することができる。 シュルレアリスムの世界観を理解し作品に表現することができる。	<知識・技能> 期末考査、ワークシート、作品 <思考・判断・表現> 作品、作品解説、期末考査 <主体的に取り組む態度> 授業中の取り組み、ワークシート、授業の振り返り
3学期 1 2 3	水墨画（5時間） ・水墨画作品の鑑賞 ・さまざまな表現方法	<知識・技能> 線や形、色の濃淡や余白の効果などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 <思考・判断・表現> 対象を見つめ感じ取った形や色の濃淡や美しさ、表したい心情などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現の構想を練っている。	<知識・技能> 期末考査、ワークシート <思考・判断・表現> 作品、期末考査 <主体的に取り組む態度> 授業中の取り組み、ワークシート、授業の振り返り

※定期考査の時間は別に定めております。

令和7年度 保健体育科 第2学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 指定教科書

保健 体育	2 学 年	教科書名（出版社）	中学保健体育（学研）
		副教材	図解中学体育（あかつき）ラインズeライブラリ

3 学習到達目標

- ・運動に主体的に取り組み、集団行動をはじめ、授業規律を守り、仲間を支援合い、助け合い、きまりやルールを守って安全に授業が取り組める力を育む。
- ・学習カードの記入において、毎時間の活動を分析して、自分の考えを表現できる生徒が増え、また、仲間と話し合い活動を通して、着眼点を絞って提示し、目的を明確にし、課題解決できる力を身に付ける。
- ・ルールや競技に必要な知識について、よく学習し自分たちで考えて練習やゲームを行うことができる。
- ・ICT活用に向けて、体育では自らの動きの振り返り、保健学習では考えのまとめや発表などができる。

4 学習の進め方

- ・体育分野では、毎時間のランニングとトレーニングを取り入れることにより、基礎体力を向上させる。また、毎時間の活動を学習カードに記録することにより、自己の取り組みや課題を明確にさせる。授業の進め方は、基本動作の習得と安全に行える動作を目指し、生徒が「知る」「分かる」「できた」という喜びを習得させると同時に、授業内の言語活動を充実させ、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。また、ICTを積極的に活用し、視覚的に自他の動きがわかるようにする。
- ・保健分野では、保健の見方・考え方を働かせて、課題を発見し解決できるようにする。また、生涯を通じて心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する。授業の進め方は、毎時間の取り組みがわかようワークシートを配付し、設問や図の作成等で知識を高める。また、ICTの活用により、画像や動画から生徒が視覚的に理解できるようにする。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に 取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・実技テストを欠席したとき、放課後等を使い、受験させる。
- ・ペア学習やグループ学習において、自分の運動動画を撮影し、動きを確認し、より良い運動を目指す。
- ・実技テストを撮影し、提出させる。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がていねいで、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期 4	体づくり運動 （3時間）	《知識・技能》 体づくり運動の意義と行い方、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする こと、話し合いに参加しようとするなどし、健康・安全に気を配っている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、 考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	5 陸上競技 （短距離・リレー・ハードル走・ 走り幅跳び） （8時間）	《知識・技能》 特性や成り立ち、技能の名称や行い方について理解している。短距離走・ リレーでは滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡しでタイミング を合わせることができる。ハードルでは、リズムカルな走りから滑らかに ハードルを越すことができる。走幅跳では、スピードに乗った助走から 素早く踏み切って跳ぶことができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、 自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守り、健 康・安全に気を配っている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、 考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
6	体力テスト （6時間）	《知識・技能》 体力テストの意義や体力評価、実施方法について理解している。 《思考・判断・表現》 体力テストの意義や体力評価、実施方法について、自己の課題を発見し、 よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 積極的に取り組むとともに、実施方法を守り、健康・安全に気を配ってい る。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、 考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	バレーボール （6時間）	《知識・技能》 バレーボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ボ ールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐ る攻防ができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、 自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 バレーボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、 健康・安全に気を配っている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、 考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
7	水泳 （12時間）	《知識・技能》 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。平泳ぎでは、 手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。背泳ぎでは、 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができ る。 《思考・判断・表現》 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方 を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 水泳に積極的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ろうとすること、 水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど、健康や安全に気を配ってい る。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、 考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	保健 （6時間）	《知識・技能》 健康な生活と疾病の予防について、理解している（生活習慣病、飲酒、喫 煙）。 《思考・判断・表現》 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考 し判断しているとともに、それらを表現している。 《主体的に学習に取り組む態度》 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組んでいる。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、 考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察

	体育理論 (1時間)	《知識・技能》 運動やスポーツの意義や効果について理解している。※技能に係る評価の対象はなし 《思考・判断・表現》 運動やスポーツの意義や効果について自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 運動やスポーツの意義や効果についての学習に積極的に取り組んでいる。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
2学期 9	ハンドボール (8時間)	《知識・技能》 ハンドボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ボール操作と空間に走りこむ動きなどの動きができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 ハンドボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配っている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
10	跳び箱 (8時間)	《知識・技能》 跳び箱運動の特性や成り立ち、技能の名称や行い方について理解し、基本的な技を滑らかに行うことができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 《主体的に学習に取り組む態度》 積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとしたり、健康・安全に気を配っている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	ダンス (7時間)	《知識・技能》 ダンスの特性や由来、表現の仕方などについて理解している。多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする事、交流などの話し合いに参加しようすることなどをしたり、健康・安全に気を配っている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	柔道 (9時間)	《知識・技能》 武道の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしたり、健康・安全に気を配っている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
11	保健 (6時間)	《知識・技能》 傷害の防止について理解している（交通事故・自然災害） 《思考・判断・表現》 傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 《主体的に学習に取り組む態度》 傷害の防止についての学習に自主的に取り組んでいる。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
12	体育理論 (1時間)	《知識・技能》 運動やスポーツの意義や効果について理解している。※技能に係る評価の対象はなし 《思考・判断・表現》 運動やスポーツの意義や効果について自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 運動やスポーツの意義や効果についての学習に積極的に取り組んでいる。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
3学期	バスケットボール (8時間)	《知識・技能》 バスケットボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解してい	《知識・技能》 定期テスト、学習カード

1		る。ボール操作と空間に走りこむ動きなどの動きができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 バスケットボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配っている。	《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	長距離走 （6時間）	《知識・技能》 長距離走の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ペースを守って走ることができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 長距離走に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守り、健康・安全に気を配っている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	ソフトボール （6時間）	《知識・技能》 ソフトボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防することができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 ソフトボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配っている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
2			
3	体育理論 （1時間）	《知識・技能》 運動やスポーツの意義や効果について理解している。 ※技能に係る評価の対象はなし 《思考・判断・表現》 運動やスポーツの意義や効果について自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 運動やスポーツの意義や効果についての学習に積極的に取り組んでいる。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察

※定期考査の時間は別に定めております。

令和7年度 技術科 第2学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向け、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 指定教科書

技術科	2学年	教科書名（出版社）	テクノロジーに希望をのせて（東京書籍）
		副教材	表計算アプリケーションソフト、ダイナモ発電ラジオ シイタケ農園、ラインズeライブラリ

3 学習到達目標

B 生物育成の技術

- ・育成する生物の成長、生態の特性等の原理・原則と基礎的な技術について理解する。
- ・問題を見出して課題を設定し、育成環境を調整し育成計画について考えることができる。

C エネルギー変換の技術

- ・電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギー変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み、保守点検の必要性について理解する。
- ・問題を見出して課題を設定し、電気回路または力学的な機構等を具体化するとともに製作過程について考えることができる。

D 情報の技術

- ・情報の表現、記録、通信等の原理・法則とデジタル化の基礎的な技術の仕組みおよび情報モラルについて理解する。
- ・問題を見出して課題を設定し、スプレッドシートの効果的な活用と生活に生かせるファイル等を構想して具体化することができる。

4 学習の進め方

- ・スプレッドシートの各機能を理解し、効果的な使い方ができることを理解させる。
- ・道具の使い方や構造の仕組みなどを学習し、実際に練習して本番の製作に臨むように指導する。
- ・製作の中での実際の失敗例を通し、その失敗の原因が何なのかを考え学習したことを製作に生かす。
- ・生活の中での課題や学習した知識を通して、自ら課題を設定し、解決方法を調べ解決していく。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価	学習の実現状況
A 十分満足できる	80%以上
B おおむね満足できる	50%以上
C 努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定	各評定の範囲
5 特に高い程度のもの	90%以上
4 十分満足できる	80%以上
3 おおむね満足できる	50%以上
2 努力をようする	20%以上
1 一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・単元の終わりで、製作等が遅れている生徒や取り組めていない生徒に対して、追加で補習を行う。
- ・課題の提出や製作の様子をタブレットで撮って、自らの改善に生かす。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がていねいで、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期 4	コンピュータの基本的な仕組み 情報の技術（５） ・生活や社会との関わり ①社会における情報に関する技術 ②情報に関する技術とその役割 ・情報とコンピュータ ①情報を扱う機器の構成 ・表現と伝達 ①情報通信ネットワークの構成 ②情報を伝えるしくみ ③インターネットの利用 ④情報を処理するしくみ ⑤デジタル化の方法と情報の量 ・情報セキュリティー ①情報通信ネットワークの危険性 ②情報セキュリティー ・情報モラルについて ①利用するときのモラル ②人権や個人情報の保護 ③知的財産の保護 スプレッドシートの活用（基礎技能の習得） ・関数の利用 ・表の作成	◎情報の技術 ＜知識・技能＞ ・コンピュータの仕組みについて理解する。 ・情報通信の種類と構成について理解する。 ・情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明できる。 ・情報通信についての科学的な原理・法則と情報通信ネットワークの構成に関する基本的な仕組みを説明できる。 ・著作権など情報モラルについて理解する。 ・情報モラルの必要性和情報を発信する時の注意点について説明できる。 ・知的財産を保護する必要性と利用方法を説明できる。 ・問題解決するようなプログラムを作成することができる。 ・情報の使いやすさやわかりやすさに関する工夫を理解し、メディアの特性を踏まえたデジタル化の方法や情報を利用するための基本的な仕組みを説明できる。 ＜思考力・表現力・判断力＞ ・使用目的や条件に応じて情報処理の手順を工夫している。 ・プログラムを活用し、課題を解決するための技術を考えている。 ・よりよい社会のために情報に関する技術を適切に活用している。 ・身の回りにある、情報の技術を利用した機器やサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。 ＜主体的に取り組む態度＞ ・生活を見直し、生活に役立てることができるファイルの構成を考える。 ・スプレッドシートの機能を狙いにそって、効果的に取り入れることができる。 ・生活を向上させる手立てを提案できる。 ◎エネルギー変換の技術 ＜知識・技能＞ ・発電方法についての仕組みや特徴を理解する。 ・電気の基礎知識について理解する。 ・力や運動を伝える仕組みについての名称や特徴について理解する。 ・電気機器の保守点検について理解する。 ・電子部品の特徴について理解する。 ・工具の使い方が適切にできている。 ・自然界にあるエネルギー源から電気エネルギーへの変換方法と安定した電力供給の仕組みを説明できる。 ・電気エネルギーを、光や熱、動力、音、信号に変換する仕組みを説明することができる。 ・動力を伝えるための仕組みとそれらの特徴を説明することができる。 ・運動を変化させる技術の仕組みや、力や運動を保存し利用する技術の仕組みについて説明することができる。 ・電気回路を回路図を使って表すことができ、電	＜知識・技能＞ 生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、保守点検の必要性及び、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているとともに、安全・適切な製作、点検及び調整等ができる技能を身に付けている。（定期考査、ワークシート） ＜思考・判断・表現＞ 生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けているとともに、安全な社会の構築を目指してエネルギー変換の技術を評価し、適切に選択、管理・運用、改良、応用する力を身に付けている。（定期考査、ワークシート） ＜主体的に学習に取り組む態度＞ 安全な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。（ワークシート） ＜知識・技能＞ 生活や社会で利用されている生物育成の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているとともに、安全・適切な栽培、検査等ができる技能を身に付けている。（定期考査、ワークシート） ＜思考・判断・表現＞ 生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けているとともに、よりよい地域社会の構築を目指して生物育成の技術を評価し、適切に選択、管理・運用する力を身に付けている。（定期考査、ワークシート） ＜主体的に学習に取り組む態度＞ よりよい地域社会の構築に向け
2 学期 9	スプレッドシートの活用 デジタル作品制作（５） 発電・電気の基礎知識・エネルギー変換について ラジオ製作（７） 電子部品の特徴 はんだ付け練習 電子基板製作 栽培の基礎知識、作業計画等（４） 椎茸栽培作業等（４）	・発電方法についての仕組みや特徴を理解する。 ・電気の基礎知識について理解する。 ・力や運動を伝える仕組みについての名称や特徴について理解する。 ・電気機器の保守点検について理解する。 ・電子部品の特徴について理解する。 ・工具の使い方が適切にできている。 ・自然界にあるエネルギー源から電気エネルギーへの変換方法と安定した電力供給の仕組みを説明できる。 ・電気エネルギーを、光や熱、動力、音、信号に変換する仕組みを説明することができる。 ・動力を伝えるための仕組みとそれらの特徴を説明することができる。 ・運動を変化させる技術の仕組みや、力や運動を保存し利用する技術の仕組みについて説明することができる。 ・電気回路を回路図を使って表すことができ、電	

3学期 1	ラジオ組立て (2) 製作品の評価 (1)	気回路の特性や電流の流れを制御する仕組みについて説明することができる。 - 電気機器の定格に基づき、安全に利用するための仕組みを説明することができる。 - 工具等を適切に用いて、電気機器の保守点検を行うことができる。 - 機械部品を固定する方法や、共通部品の規格について説明することができる。 - 機器の保守点検することができる。 - エネルギー変換の技術を利用することで実現される持続可能な社会を説明することができる。 <思考力・表現力・判断力> - 製品に込められたエネルギー変換の技術に関する工夫を読み取り、エネルギー変換の技術の見方・考え方に気付くことができる。 - 使用目的や条件に応じて製作品の機能と構造を工夫している。 - 開発者が、製品等の目的に合わせて、機構の要素や構成を変更していることに気付くことができる。 - 既存の製品に問題点を見いだして、必要な機能に気付くことができる。 - 製作品の目的に対して適切な部品を選択できる。 - 設計に基づく作業を計画できる。 - 設計や製作の過程に対する改善を考えることができる。 - 製作品の機能を評価し、改善点を考えることができる。 - 持続可能な社会を実現するために、エネルギー変換の技術を評価し、適切な管理・運用の仕方や改良の方向性について考えることができる。 <主体的に取り組む態度> - 進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 - 製作品に必要な機能について考えようとしている。 - 持続可能な社会の実現に向けて、今あるエネルギー変換の技術を工夫して活用したり、新たなエネルギー変換の技術を創造しようとしている。 ◎生物育成の技術 <知識・技能> - 栽培の基礎知識について理解する。 - 生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを説明できる。 - 栽培の基礎的な技術作業を適切に行うことができる。 - 生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを説明できる。 - 育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。 - 動物、水産生物などの成長、生態などについての科学的な原理・法則を説明できる。 <思考力・表現力・判断力> - 生育状況に応じて課題を解決するための技術の活用方法を考えている。 - よりよい社会のためにエネルギー変換に関する技術を適切に活用している。 - 生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見いだして課題を設定できる。 - 育成計画に基づき、記録したデータと作物の生	て、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。(ワークシート) <知識・技能> 生活や社会で利用されている情報の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、情報モラルの必要性及び、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているとともに、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。(定期考査、ワークシート) <思考・判断・表現> 生活上の問題を見いだして、必要な機能をもつコンテンツのプログラムの設計・制作などの課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けているとともに、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指して情報の技術を評価し、適切に選択、管理・運用、改良、応用する力を身に付けている。(定期考査、ワークシート) <主体的に学習に取り組む態度> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、情報の技術を工夫し創造しようとしている。(ワークシート)
--	---	---	---

		育状況とを比べながら、合理的な解決作業を決定できる。 <主体的に取り組む態度> ・進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ・よりよい地域社会の構築を目指して、生物育成の技術を進んで工夫し創造しようとしている。	
--	--	--	--

令和7年度 技術・家庭科（家庭分野） 第2学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- ・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 指定教科書

家庭科	2学年	教科書名（出版社）	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生（開隆堂）
		副教材	ワークノート B-2 衣生活・住生活（地域教材社） デジタル平面計画（株式会社ディーディーエス） ラインズ e ライブラリ

3 学習到達目標

- ・健康・快適・安全で豊かな衣生活に向けて考え、工夫する活動を通して、衣服の適切な選択や着用、衣服の計画的な活用、日常着の手入れ、製作に関する知識及び技能を身に付ける。
- ・健康・快適・安全で豊かな住生活に向けて考え、工夫する活動を通して、家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能、家族の安全を考えた住空間の整え方に関する知識及び技能を身に付ける。
- ・これからの生活を展望して、衣生活、住生活について課題を解決する力を養い、衣生活、住生活について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

4 学習の進め方

- ・日常生活との関わりや課題を見だし、解決に必要な基本的な知識や技能の理解を図る。
- ・デジタルコンテンツやワークなどを適宜使い分けながら、基本的な知識や技能の理解を深める。
- ・実習・実践と基本的な知識・技能がつながるよう、関連する内容を相互に行う。
- ・製作の手順や段取りを自ら考え、協力して実習・実践することで、協力・協働すること大切さを学ぶとともに、次なる課題を設定し、改善していく活動を通して、思考・判断・表現力を養う。
- ・長期休業中の課題にて、家庭での実践を促す。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・授業の資料や見本等の動画、ワークシート配布。
- ・課題（ワークシート等）提出。
- ・基本的な知識の定着促進。（e ライブラリ、クイズ問題など）

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1学期	4 B衣食住の生活 （衣生活） 持続可能な衣生活(2)	<思考・判断・表現> ・持続可能な生活を目指して課題とその解決方法について考え、工夫している。	<思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・授業の取り組みの様子
	5 目的に応じた衣服の選択(2)	<知識・技能> ・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・目的に応じた着用について理解している。 ・個性を活かす着用について理解している。 ・衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用必要性について理解している。 <思考・判断・表現> ・自分らしい着方について考え、工夫している。 ・衣服の選択について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	<知識・技能> ・定期考査 ・ワークシートの記述 ・ワークノートの記述 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・授業の取り組みの様子
	6		
	7 日常着の手入れと保管 (7)	<知識・技能> ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ（洗濯と保管・補修）について理解しているとともに、適切にできる。 <思考・判断・表現> ・材料や状態に応じた日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	<知識・技能> ・定期考査 ・ワークシートの記述 ・ワークノートの記述 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・授業の取り組みの様子
2学期	9 生活を豊かにするものの製作(10)	<知識・技能> ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 <思考・判断・表現> ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物を製作について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	<知識・技能> ・定期考査 ・実習の取り組みの様子 ・作品 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 ・実習の取り組みの様子 ・作品 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・ワークシートの記述 ・実習の取り組みの様子
	10		
	11		
	12 目的に応じた衣服の選択(2)	<知識・技能> ・個性を活かす着用について理解している。 <思考・判断・表現> ・自分らしい着方について考え、工夫している。	<知識・技能> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・授業の取り組みの様子
3学期	1 B衣食住の生活 （住生活） 住まいの働きと心地よさ(4)	<知識・技能> ・住居の基本的な機能について理解している。 ・家族の生活と住空間との関わりについて理解している。 ・室内の空気環境など家族の健康を考えた住空間の整え方について理解している。 <思考・判断・表現> ・室内の空気環境など家族の健康を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。	<知識・技能> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述

2	安全な住まいで安全な暮らし(5)	<知識・技能> ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・自然災害への整え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 <思考・判断・表現> ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・授業の取り組みの様子
3			<知識・技能> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・授業の取り組みの様子

※定期考査の時間は別に定めております。

令和7年度 外国語科(英語) 第2学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2 指定教科書

英語科	学年	教科書名(出版社)	NEW CROWN ENGLISH SERIES 2 (三省堂)、
		副教材	ラインズ e ライブラリ、英語マスターノート、Smile English、Talk&Talk

3 学習到達目標

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

4 学習の進め方

- ・帯活動で教師&生徒、生徒&生徒での会話を行うような、Criss Cross や Bingo、スピーキング教材等を行う。
- ・教科書内容解説はオールイングリッシュを目指し、既習表現を用いてリスニング&スピーキング能力を高める。
- ・思考・判断・表現力向上のため、自由度の高い出題形式を意識して英作文の問題を作ることや、文法や語彙的な精度よりも思考しその場に応じた表現を判断し運用する能力を測るようなパフォーマンステストの評価基準を設定する。
- ・家庭学習については、ノートの意味調べを予習として行い、ワークやタブレット教材、Talk&Talk の宿題等を用い、その日に学んだ単元の復習を行うことで、授業での学習効果を増大させる。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・定期考査後は必ず振り返りワークシートを取り組ませる。また、小テストをタブレットで行い、自身の苦手分野や誤答問題の傾向を即時に伝えられるようにする。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容 (時数)・ 項目	評価規準 (到達目標) ※観点印 ・=<知識・技能> ◎=<思考・判断・表現> ○=<主体的に学習に取り組む態度>	評価の観点と方法
1 学期 4	Lesson 1 Meet New Friends(13)	・未来表現の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・未来表現の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。<知・技> ◎新しい ALT の先生に日本の学校について知ってもらうために、学校生活や行事について、詳しい説明や感想をつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。 ◎搭乗券に記載されている便に乗るために、(場所や時刻に着目し、) 空港のアナウンスを聞いて、必要な情報を捉えることができる。 ◎相手の条件や要望に合うものをすすめるために、(できることや時間に着目し、) イベントの内容について書かれた案内を読んで、必要な情報を捉えることができる。<思・判・表>	<知・技> 定期考査・小テスト <思・判・表> 定期考査・パフォーマンステスト <主体的に学習に取り組む態度> 定期考査・ノートチェック
5	Lesson 2 Fun with Books (17)	・接続詞 when, if, that, be sure that を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・接続詞 when, if, that, be sure that を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。<知・技> ○話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手が話した内容に関連する質問をしながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に回答したりすることができる。 ◎日本語の勉強に役立ちそうな本や物語を紹介するために、登場人物などについて、すすめる理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書くことができる。 ◎イベントに参加するかどうかを決めるために、(目的や活動内容に着目し、) イベントの内容について話された案内を聞いて、要点を捉えることができる。 ◎「提案する」「要望する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。 ◎[A] 買い物の場面で、商品を提案するために、商品の色や値段について事実や自分の考えなど整理し、Expressions など示された語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。 [B] 買い物の場面で、好みに合った商品を見つけるために、自分の好みや要望について事実や自分の考えなどを整理し、Expressions など示された語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。	<知・技> 定期考査・小テスト <思・判・表> 定期考査・パフォーマンステスト <主体的に学習に取り組む態度> 定期考査・ノートチェック
6	Lesson 3 My Dream (21)	・to 不定詞の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・to 不定詞の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・must ... / must not ... の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・must ... / must not ... の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 ○話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、自分が理解したことを相手に伝えながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に回答したりすることができる。 ◎経歴をまとめるために、(問題と解決策を整理し、)『捨てないパン屋』の田村陽至さんについて書かれた記事を読んで、概要を捉えることができる。 ◎プレゼントを決めるために、(質問の答えに着目し、) 相手の予定や好みについて話されたボイスメッセージを聞いて、必要な情報を捉えることができる。 ◎スピーチコンテストに参加するために、自分が将来したいことや夢について、伝えたいことを整理し、理由やきっかけをつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。 ◎物語のあらすじをまとめるために、気持ちの移り変わりに着目し、ピーターラビットの冒険物語を読んで、概要を捉えることができる。	<知・技> 定期考査・小テスト <思・判・表> 定期考査・パフォーマンステスト <主体的に学習に取り組む態度> 定期考査・ノートチェック
7			

2学期 9	Lesson 4 Clean Water (16) Safe	・ There is [are]を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・ There is [are]を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・ 動名詞の意味や働きを理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・ 動名詞の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・ have to ... / don't have to ...の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・ have to ... / don't have to ...の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 ○話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、話題を広げながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に回答したりすることができる。 ◎海外の学校の生徒と情報交換をするために、身の回りの環境問題について、問題点と解決策を整理して、まとまりのある文章を書くことができる。 ◎活動に参加するかどうかを決めるために、(活動内容や参加者の感想に着目し、) ニュースを聞いて、概要を捉えることができる。 ◎「意見を言う」「賛成する」「反対する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。 ◎[A] 意見を交わし、議論を深めるために、トークテーマについて、事実や自分の考えなどを Expressions など示された語句や文を用いて述べ合う。 [B] 意見を交わし、議論を深めるために、トークテーマについて、相手の意見に賛成・反対する理由を、Expressions など示された語句や文を用いて述べ合う。	<知・技> 定期考査・小テスト・スプリングテスト <思・判・表> 定期考査・パフォーマンステスト <主体的に学習に取り組む態度> 定期考査・ノートチェック
10	Lesson 5 Australia (17) Visiting	・ 〈動詞 (show など) + A+B〉を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・ 〈動詞 (show など) + A+B〉を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・ 〈動詞 (call, make など) + A+B〉を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・ 〈動詞 (call, make など) + A+B〉を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・ 〈how+to+動詞の原形〉を理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・ 〈how+to+動詞の原形〉を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 ○話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手が理解しやすいように伝える順序を工夫しながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に回答したりすることができる。 ◎海外からの旅行者に町や地域を訪れてもらうために、おすすめの場所やイベントについて、複数の詳しい情報をつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。 ◎「行き方をたずねる」「行き方を説明する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。 ◎[A] 電車の乗り換えの場面で、行き方をたずねるために、目的地について事実や自分の考えなどを整理し、Expressions など示された語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。 [B] 電車の乗り換えの場面で、行き方を説明するために、目的地までの経路について事実や自分の考えなどを整理し、Expressions など示された語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。 ◎相手の条件や要望に合うものをすすめるために、(機能や価格に着目し、) 商品について書かれたウェブサイトを読んで、必要な情報を捉えることができる。	<知・技> 定期考査・小テスト <思・判・表> 定期考査・パフォーマンステスト <主体的に学習に取り組む態度> 定期考査・ノートチェック
11			

12	Lesson 6 Friends from Singapore (19)	・形容詞の比較級・最上級 (-er / -est) を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・形容詞の比較級・最上級 (-er / -est) を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・形容詞の比較級・最上級 (more / most) を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・形容詞の比較級・最上級 (more / most) を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・同等比較 (as ... as ～) や副詞の比較級・最上級を理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・同等比較 (as ... as ～) や副詞の比較級・最上級を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ◎筆者の考えや気持ちをまとめるために、(事実と筆者の考えや気持ちに着目し、) 海外から来た生徒が日本で学んだことについて書かれたメールを読んで、要点を捉えることができる。 ◎海外から日本に来る生徒に紹介するために、日本のおすすめの食べ物について、情報を比較し、感想などをつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。 ◎ツアーや教室の特徴をまとめるために、(事実と筆者の考えや気持ちに着目し、) できることや参加者のレビューについて書かれた案内を読んで、概要を捉えることができる。	<知・技> 定期考査・小テスト <思・判・表> 定期考査・パフォーマンステスト <主体的に学習に取り組む態度> 定期考査・ノートチェック
3学期 1 2	Lesson 7 Gifts from China (16)	・現在完了形(経験用法)の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・現在完了形(経験用法)の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・現在完了形(経験用法)の疑問文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・現在完了形(経験用法)の疑問文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・〈tell + A + that ...〉を用いた文の構造を理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・〈tell + A + that ...〉を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ○話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、自分の考えとその理由や根拠を伝えながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に回答したりすることができる。 ◎海外からの旅行者にすすめるために、商品について、特徴を整理した上で説明を加えて、まとまりのある文章を書くことができる。 ◎インタビューで取り上げられている人に質問するために、(質問とその回答に着目し、) インタビューを聞いて、要点を捉えることができる。 ◎「意見を言う」「賛成する」「反対する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。 ◎[A] 意見を交わし、議論を深めるために、トークテーマについて、事実や自分の考えなどを Expressions など示された語句や文を用いて述べ合う。 [B] 意見を交わし、議論を深めるために、トークテーマについて、相手の意見に賛成・反対する理由を、Expressions など示された語句や文を用いて述べ合う。	<知・技> 定期考査・小テスト・スプリングテスト <思・判・表> 定期考査・パフォーマンステスト <主体的に学習に取り組む態度> 定期考査・ノートチェック
3	Lesson 8 Rakugo Goes Overseas (17)	・現在完了形(完了用法)の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・現在完了形(完了用法)の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりする	<知・技> 定期考査・小テスト <思・判・表> 定期考査・パフォーマンステスト <主体的に学習に取り組む態度>

		ることができる。 ・現在完了形（継続用法）の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・現在完了形（継続用法）の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ◎記事で取り上げられている人物の考えや意見をまとめるために、（考えや意見を述べる表現に着目し、）インタビュー記事を読んで、要点を捉えることができる。 ◎海外から日本に来る観光客にすすめるために、紹介したいものや訪れてほしい場所について、説明やおすすめの理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書くことができる。 ◎物語のあらすじと登場人物の性格をまとめるために、（登場人物に着目し、）小僧と和尚の物語を読んで、概要を捉えることができる。	定期考査・ノートチェック
--	--	---	--------------

※定期考査の時間は別に定めております。